

新潟県土木部監理課・道路管理課

調査日：平成 16 年 11 月 8 日（月）

班：道路ネットワーク班

分類別：復旧・復興状況

キーワード別：一般道路、交通ネットワーク、輸送

調査結果

(1)震災直後の状況（初動体制・情報収集等）

- ・すぐに職員が集合しパトロールを始め、消防団、建設業界、地域住民からの情報で被災状況（通行止めすべき箇所）の体制は翌日に把握できた。
- ・上空からの被災状況の把握については、国が積極的に動いてくれただけでなく、測量会社からも情報提供があった。
- ・県知事が当日に交代となっていて、対策本部長は前知事が担当した。

(2)応急修復の実施状況

- ・被災翌日から国道（県管理）から応急作業がスタートした。これらのアクションは現場の判断が基本である。
- ・当面は幹線と孤立地を中心として、除雪作業に耐えられるような応急復旧を行う。
- ・道路維持管理会社に委託している区間はない。

(3)交通規制・管理の実施状況

- ・関越の川口インターから川口町中心部へのアクセスルートについて、県道が使えず町道への迂回措置をとったが、大型車の問題がネックとなった。

(4)利用者への情報提供状況

- ・通行止め区間の情報については、対策完了箇所を HP で公開している。

(5)その他

- ・国道 291 号の東山 TN～小松倉の 9.5km を臨時に直轄とした。